

対馬暖流はやや蛇行しながら北上
対馬暖流の流量は平年の3分の2
今後の沿岸水温は平年よりも高く推移する

2024年6月2日～12日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は、松前の沿岸側から奥尻島西方沖を流れるルートを取り、せたな沖で再び沿岸側へ接近した後は、沿岸寄りのルートを取り北上しています（図1c）。

対馬暖流の北上流量は約0.9Sv（1 Sv=10⁶ m³/s）で、平年の3分の2程度となっています（6月流量の平年値は1.2Sv）。

50 m深水温は5～11℃で、平年並みか平年よりも約2～4℃高くなっています（図1a,b）。

6月中旬の余市前浜水温は「やや高い」ですが（※1）、向こう1ヶ月の気温の予報は高くなる確率が60～70%以上となっていますので（※2）、今後、沿岸水温は平年よりもさらに高く推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyousuion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

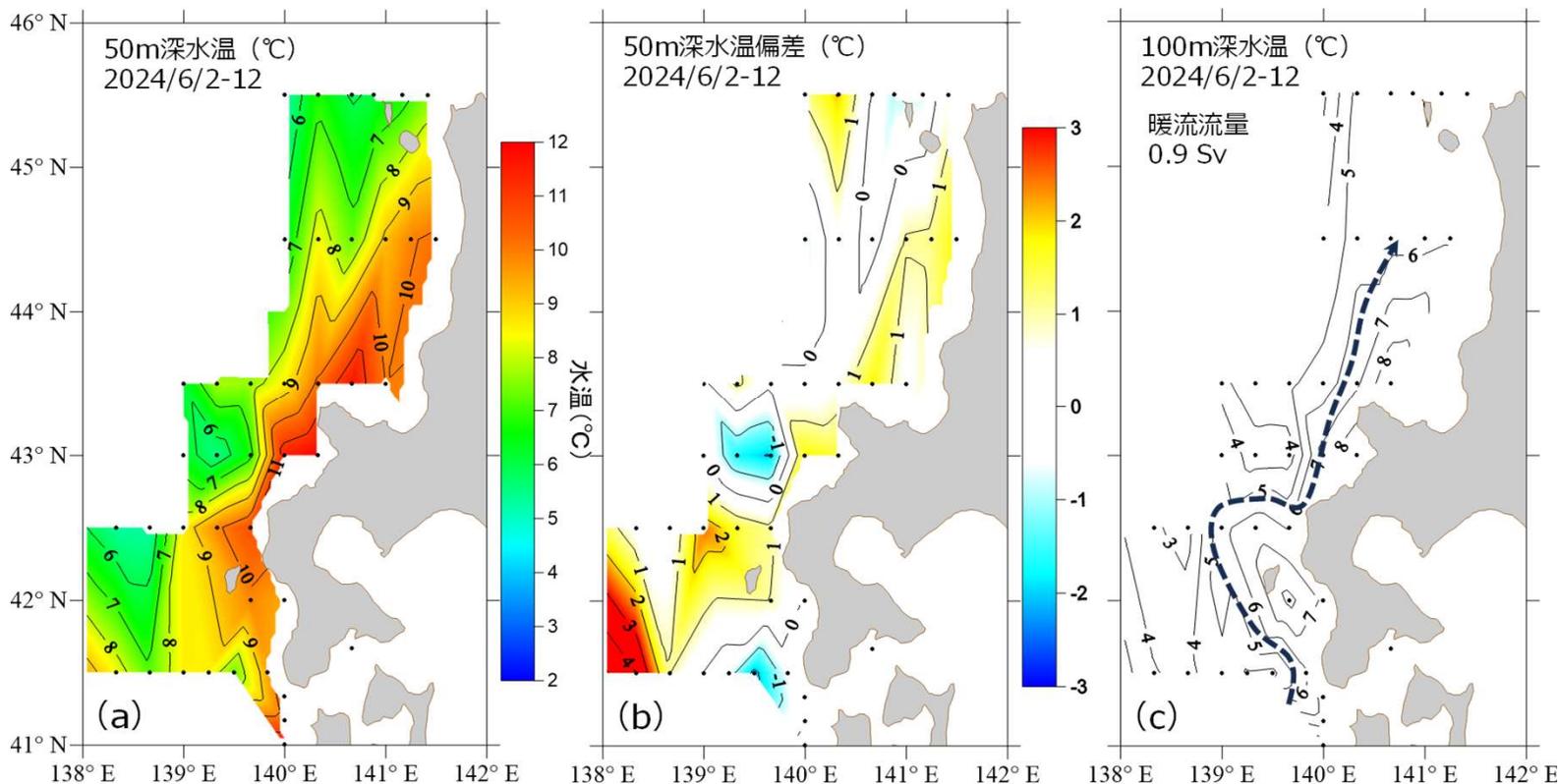


図1 2024年6月上中旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10⁶m³/s）。